

チャイルドブック活用ガイド

えほん&ほいく

9
2021



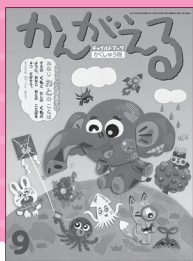
全頁に **ポストカードプレゼント!**

左記のQRコードからアンケートにお答えいただくと
ポストカード2枚セットをプレゼントいたします!
(応募締め切り 2021年10月31日)

活用のヒントを **動画** で紹介!

総合保育絵本の読み方、使い方の
ポイントをぜひご覧ください。





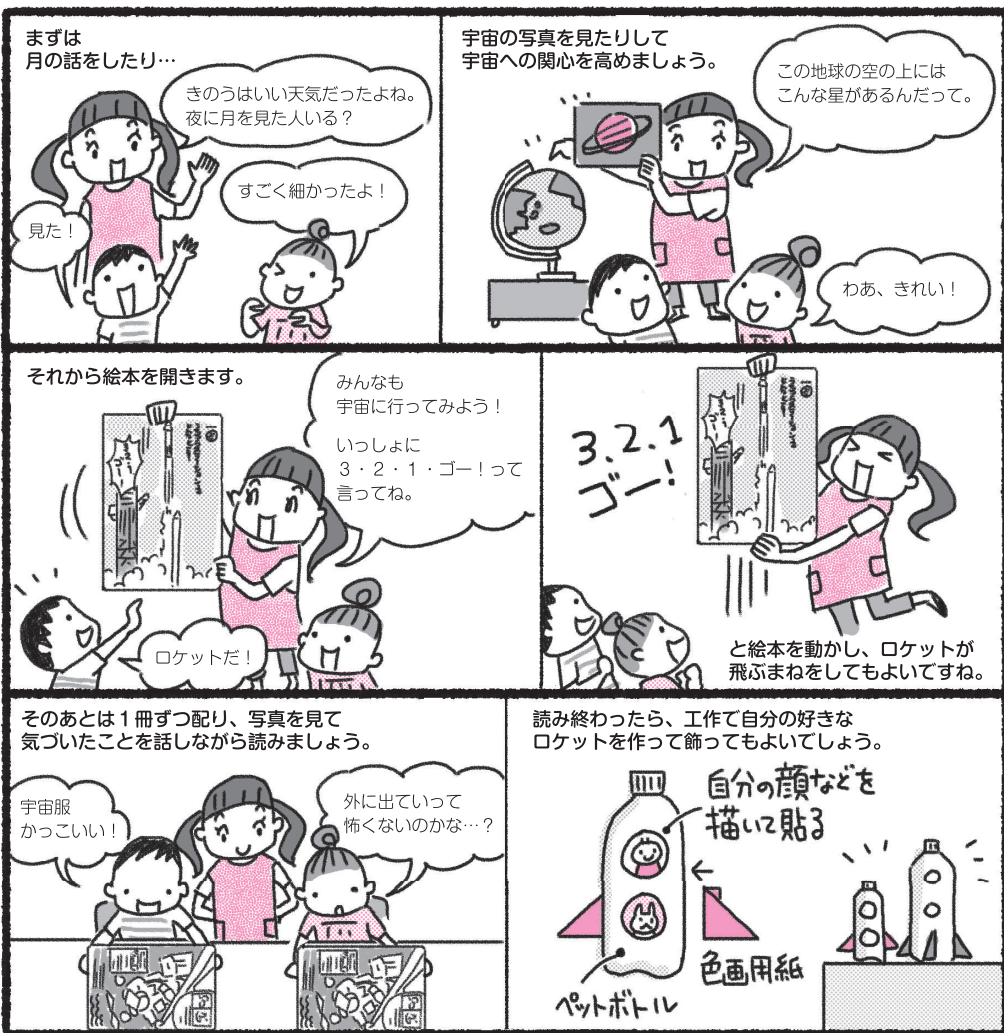
かながえる

チャイルドブック・がくしゅう版

指導／木部秀子
（「ほいくえん」研究会）

わくわく うちゅう クイズ
（1～11ページ）

うちゅうステーションって どんな ところ？



- 今年の十五夜は9月21日です。行事とからめ、宇宙への興味と関心を高めましょう。
- 今年は宇宙ステーションに2人の日本人が滞在したり、月食が見られたりと宇宙を身近に感じる話題もたくさんあります。宇宙についてさらに想像を膨らませられるとよいですね。

みの まわりの なぜなぜ
（14～18ページ）

でんしゃの なかで…

読む
まえに

動物の話をきっかけにして絵本を開きましょう。



9月20日から26日は動物愛護週間。このコーナーでも動物への理解と関心を深められるとよいでしょう。まずは「みんなは動物が好き？」などと聞き、飼っている動物や好きな動物の話をし、それをきっかけに本文を読み始めてもよいですね。

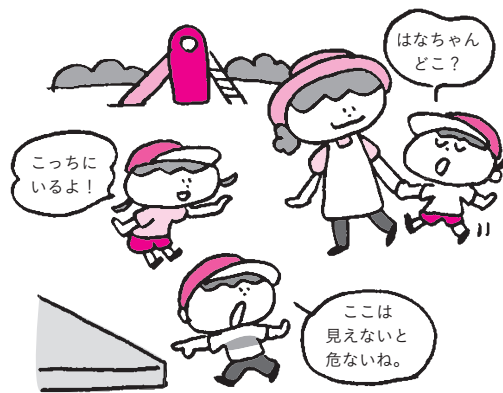
読む
ときに

盲導犬の仕事について考えながら読みましょう。

保育者の手で絵本を開き、どうして犬が電車に乗っているのか考えてみましょう。「訓練をして、人のために仕事をしている犬なんだよ」と言葉かけをしてもよいですね。目の不自由な人の目の代わりになる盲導犬。動物も人を助けて、ともに生きていることを感じてくれたらうれしいですね。

読んだ
あとに

目の不自由な人への理解をさらに深めましょう。



17ページからは、社会には盲導犬だけではなく、目の不自由な人のためのいろいろな工夫があることを伝えています。絵本に出てきた物の他にも身近にどんな工夫があるのかを探したり調べたりしてみてもよいですね。また、33ページの行事コーナーでは10月の「目の愛護デー」を取り上げています。つなげて読んで、実際に目が見えないと困ることなどを話し合ったり、体験してみたりしてもよいでしょう。

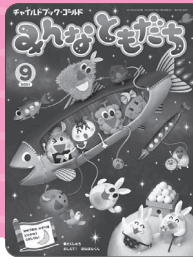
▶ チャイルド本社のホームページに「かながえる」活用のヒントを動画で紹介しています。

チャイルド本社

検索

※ 表紙のQRコードからもアクセスできます。

指導計画の週案・日案文例は16ページへ



チャイルドブック・ゴルド

みんなともだち

指導／柴宮佑介
(Kids Island うちがしま)

たべたいな！ しりたいな！ 食育
(12～15 ページ)

さけは どれだ？



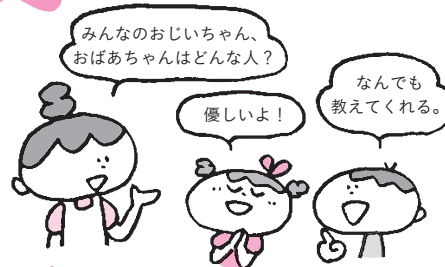
● 普段食べている魚の特徴を知ること、食べることへの関心や感謝の気持ちが高まりますね。スーパーに行った際に魚を見てみるように伝えても、興味が深まるでしょう。

みんなで よもう！
(16～27 ページ)

おばあちゃんは たからばこ

読む
まえに

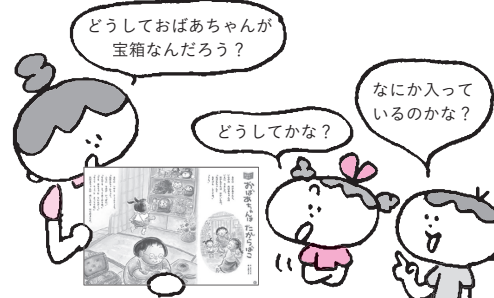
おじいちゃん、おばあちゃんを思い浮かべましょう。



「みんなのおじいちゃん、おばあちゃんはどうな人？」と問いかけて、子どもたちから声を引き出しましょう。おじいちゃん、おばあちゃんを思い浮かべたところで「きょうは、おばあちゃんのお話を読むよ」と絵本を開きます。

読む
ときに

「宝箱」の理由を考えながら読みましょう。



タイトルを読んだあと「どうしておばあちゃんが宝箱なんだろう？」と投げかけてみましょう。不思議に思うことによって、よりお話を熱心に聞けるはずです。

読んだ
あとに

おじいちゃん、おばあちゃんと話すきっかけに。



「みんなもおじいちゃん、おばあちゃんの子どもの時代の遊びを聞いて、やってみよう！」と伝えます。身近なお年寄りと話すきっかけが作れるとよいですね。

あわせて敬老の日の意味を伝え、どんなことをしたら喜んでくれるか考えるのもよいでしょう。贈り物だけではなく、電話をすることや肩たたきなどコミュニケーションの時間がもてるような案もすてきですね。

▶ チャイルド本社のホームページに「みんなともだち」活用のヒントを動画で紹介しています。

チャイルド本社

検索

※ 表紙のQRコードからもアクセスできます。

指導計画の週案・日案文例は17ページへ



チャイルドブック

ジュニア

指導／水野絵里
（「はいくえほん」研究会）

どうぶつ
（2～8ページ）

だれの はな？



- 4ページに進むときは「パオーン」などと言いながらめくると、期待が高まりますね。
- 人の鼻と動物の鼻をくらべて、似ているところ、異なるところを考えてみましょう。それぞれによいところを認め、大切な体の一部であることが理解できるようにしていきましょう。

生活
（25～29ページ）

ひなんくんれん できるかな？

読む
まえに

避難訓練の必要性を伝えていきましょう。

「避難訓練ってどうして必要かわかるかな？」と関心を高めるような問いかけをしてみましょう。なかには非常ベルを怖がる子どももいるかもしれません。災害が起きたときにみんなの命を安全に守るための練習であることを知らせ、安心できるよう伝えていきましょう。そのうえで「きょうは、みかんちゃんたちも避難訓練をするんだって」と絵本へ繋げていきます。

読む
ときに

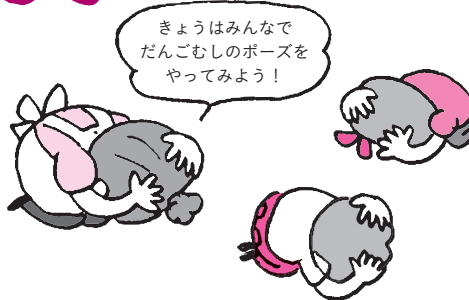
みかんちゃんたちの姿を見ながら話し合みましょう。



「なんでみかんちゃんとピーマルくんは、机の下に隠れたのかな？」と聞いてみましょう。理由を伝えてから「少し机から離れているなすみちゃんは、どうしてこのだんごむしのポーズをしているのかな？」などと、頭を守る大切さに気づくよう話し合ってみましょう。クラス内で実際に地震が起きたときに、机が近くになかったら、揺れが収まるまでどこで待機するとよいか決めておきましょう。

読んだ
あとに

避難時の行動が自然と身につくよう日頃から工夫を。



実際の避難訓練の前に読み直し、「お・は・し・も」の約束が再認識されるようにしましょう。訓練のときだけでは、避難の仕方の重要性を実感できないかもしれません。遊びのなかでだんごむしのポーズを取り入れたり、注目して保育者の話を聞く機会を増やしたりしてみましょう。



チャイルド本社のホームページに「ジュニア」活用のヒントを動画で紹介しています。

チャイルド本社

検索

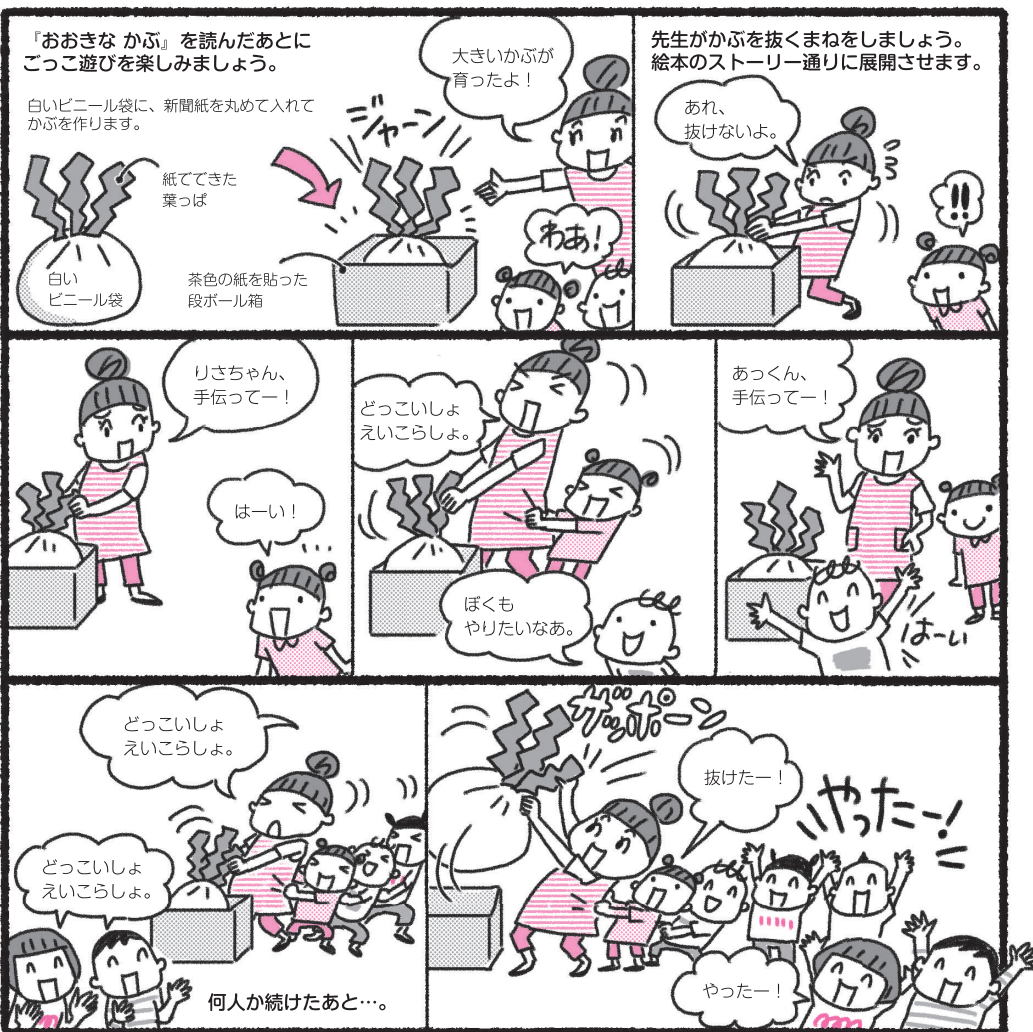
※ 表紙のQRコードからもアクセスできます。

指導計画の週案・日案文例は18ページへ



おはなし
（18～30ページ）

おおきな かぶ



- 見ている周りの子どもたちも、「どっこいしょ えいこらしょ。」といっしょにかけ声を出して楽しめるとよいですね。

かんきょう
（14～15ページ）

おつきさま

読んだ
あとに

お便りで、保護者に十五夜をお知らせしましょう。



「今月の21日は十五夜です。月刊絵本『ぷう』で月の満ち欠けの不思議に触れて、子どもたちの関心を高めています。ぜひ、いっしょにお月様を眺める時間をもってください。」と、お便りでおうちの人に知らせておくとういでしょう。また、もうすぐ満月になるころに、シールコーナー「みんなでおつきみ」を楽しみ、21日に満月になることを伝えて、期待感を高めていきます。

読んだ
あとに

月の満ち欠けのカレンダーを見てみましょう。

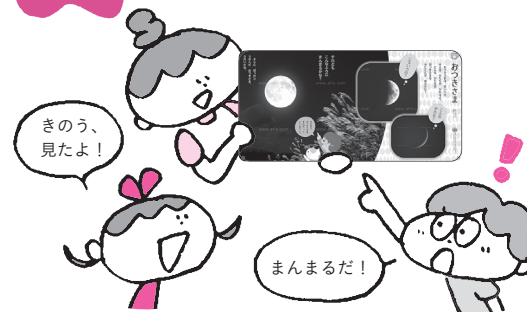


月の形は毎日変わります。新月は9月7日、半月は9月14日、そして今年の十五夜（満月）は21日です。変わっていく月の形を子どもたちと楽しみましょう。インターネットなどで月の満ち欠けのカレンダーを探し、きょうの月の形をプリントして見せてあげてもよいですね。

参考：満月カレンダー（2021年9月）<https://arachne.jp/onlinecalendar/mangetsu/2021/9/>

読む
ときに

十五夜の翌日に、もう一度絵本を読みましょう。



十五夜の翌日にもう一度読んで、きのうの月を話題にしましょう。15ページのまんまるの月を見せて、きのうが満月だったこと、数日は満月に近い月が見られることを伝え、関心を高めましょう。



チャイルド本社のホームページに「ぷう」活用のヒントを動画で紹介しています。

チャイルド本社

検索

※ 表紙のQRコードからもアクセスできます。

指導計画の週案・日案文例は19ページへ



サンチャイルド ビッグサイエンス

『つくってみよう! うどん』

指導／瀬川未佳
（「はいくえん」研究会）

保育で絵本を楽しむコツ

今月号は子どもたちに人気の「うどん」。よく食べていても、なにからどういふうにできているのか、知っている子は少ないでしょう。クイズ形式でその作り方の秘密に迫ります。本を読むまえには、子どもたちの興味を引き出すこんな活動をしていてもよいでしょう。

麺料理、知っているかな？

A4くらいのサイズの紙に、うどん、そば、そうめん、ラーメン、スパゲッティなどの写真をプリントします。そして、それぞれの麺（ゆで麺）を一皿に一つずつ載せて、見えない所に用意しておきます。

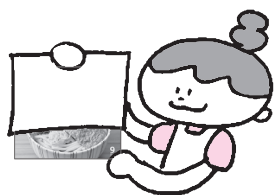
まずはじめに、「みんな、麺って知ってる？ 細長くてお箸やフォークですくって、ちゅるちゅるって食べる物だよ。どんな麺のお料理を食べたことがある？」と、子どもたちに聞いてみましょう。「うどん!」と返ってきたら、うどんの紙を、「そば!」と声があがったら、そばの紙を出していきます。

全部出そろったら、今度はテーブルに麺を並べて、みんなでじっくり観察します。そして、「どの麺をどのお料理に使うかわかるかな?」と聞きます。太さや色、形などに気がつけるように声かけをしたり、触ってみたりしながら、みんなで決めましょう。最後に答え合わせをします。



表紙を見せる一工夫

表紙を紙で隠しましょう。そして、「さあ、きょうはどんな絵本かな?」と言いながら、少しずつ紙をずらしていき、表紙を見せましょう。読みたい! という気持ちが高まって、絵本をより集中して見ることができるでしょう。



10月号の
お知らせ

『この ゆび とまれ! あかとんぼ』 「あかとんぼ」というのは秋に飛ぶ赤い体のトンボの総称です。今回はそのなかでも、もっとも代表的な「アキアカネ」の生態を紹介します。指にとまってくれるかな?

作者インタビュー



中山章子先生

サンチャイルド・ビッグサイエンス9月号
『つくってみよう! うどん』
監修・料理制作／中山章子(料理研究家)



今回はうどん作りを指導していただきました料理研究家の中山章子先生にインタビューします。まずは、料理研究家のお仕事はどんな内容か、教えていただけますか?

今回の絵本では、まずお子さんとご家族に作っていただきやすいようにレシピを提案しました。そして撮影現場では、粉や生地の用意や調理に加えて、誌面での見栄えを考えながら食器、テーブルクロスなどを用意しました。また全国のうどんを調べて調理したり、盛りつけをしたりもしました。こういったお仕事の他には、広告などの撮影やイベントでの実演などもすることがあります。

お仕事のために日頃から心がけていることはありますか?

自分で料理をするときにも、常にどうしたらおいしそうに見えるか盛りつけを考えたり、簡単にわかりやすく作り方を伝えるにはどうしたらよいかを考えています。また、レシピを読む人たちの声を知るために、料理教室も開いています。

どうしたら料理研究家になれるですか?

私の場合は学生のときから料理が好きで、さまざまな料理教室に通っているうちに、自分でも自宅で料理教室を開くようになりました。最初はお友達だけを対象にしていたのがだんだん広がって、そのうちに広告代理店の方がいらして、その方に広告のお仕事にお誘いいただいたのが始まりです。そのあとも人の縁から本を出版して、それを見た方に声をかけていただいたりして、お仕事が広がりました。普通は、調理学校を卒業したり、料理研究家さんのアシスタントになって独立したりする人が多いのではないのでしょうか。

サンチャイルド・ビッグサイエンスでは、さまざまな企画でお世話になっています。心に残ってい

るものはありますか?

この本のお仕事は思い出深いものが多いです。チョコレート工場やチーズ工場に編集者さんといっしょに取材に行き、その食品がどのように作られるのか、工場の方にお話を伺ったりもして。他のお仕事ではなかなか、こうしたことはないのです。

過去のチョコレートの企画では、カカオ豆をすり鉢とすりこぎを使って3日もかけてすりつぶして、手作りしていただきました。断ろうと思いませんでしたか?

いえ、全然。好奇心と探究心があって、挑戦しました。普通自分だけではやるチャンスのないことですから。本当にチョコレートができるのか、ワクワクと心配が半分半分でしたけれど。

この絵本は先生のお仕事を楽しく姿勢に支えられていますね。最後に、読者の子どもたちや先生方にメッセージをお願いします。

絵本をきっかけに日常に気なく食べている物が、どんな物からできていて、どんなふうになられているのか、家族でお話ししていただければと思

います。満足に食べる物のない国もありますので、あらためて食べ物のありがたさにも感謝する心を育てていきたいですね。



撮影中、お料理にみそを盛りつける中山先生。

中山章子 (なかやま・あきこ)

料理指導、スタイリストを経て主に広告分野において、メニュー・レシピ開発・商品開発・スタイリングを含むフードコーディネートを手がける。羽根木の森クッキングサロン主宰。みなと気仙沼大使。

読み聞かせ ワンポイント アドバイス



徳永 満理
(とくなが・まり)

福岡県出身。子どもの発達をふまえていねいな保育のなかで50年読み聞かせの
実践を重ねる。社会福祉法人おさなご保育園園長を経て、現在は同園の理事長。
元兵庫大学短期大学部専任講師、あかし保育絵本士養成講座講師、兵庫子ども
絵本の会顧問。著書に『絵本と子どもが会ったら』（鈴木出版）、『絵本でひろ
がる子どものえがお』（高山智津子氏と共著）『よくわかる0～5歳児の絵本読
み聞かせ』（以上、チャイルド本社）、『赤ちゃんにどんな絵本を読もうかな』（か
もがわ出版）、絵本に『はるちゃんのぼんぼりぼうし』（ひさかたチャイルド）、
『ゆうちゃん』シリーズ9冊（アリス館）などがある。



もこちゃんチャイルド

てを たたきましょう

詞／小林純一
構成・絵／園田トト

大人が「上手、上手！」と手をたたきながらほめると、同じように両手を合わせて“ぱちぱちぱち”とまねっこしてくれる子どもたち。そんな子どもたちが喜んで見てくれることでしょう。歌が大好きな子どもたちです。リズムカルに、弾むようにうたいながら読んであげましょう。

表紙にはいっしょにうたって遊んでくれる動物たちが勢ぞろいしています。親しみを込めて見せましょう。いよいよまねっこ大会の始まりです。仲間たちもみんなスタンバイしています。子どもたちにも、両手を出してたたけるように準備を促しましょう。歌が始まったら「♪てをたたきましょう」とうたいながら動きもつけて、子どもたちにも「いっしょにやってね」と促しましょう。

「あしぶみしましょう」「わらいましょう」もみんなていっしょにやりながら読み進めましょう。
読み終わったら、みんなてまねっこ大会をして遊んでみましょう。



あわあわジャングル

作／片平直樹
絵／高島那生

お風呂嫌いの主人公の“泡の森”での楽しい冒険物語です。タイトルから興味を引かれます。絵もユニークです。ぼくの気持ちの変化にメリハリをつけ、弾むように読みましょう。

お風呂場から逃げ出したぼく。お母さんに戻るよう言われ、再びお風呂場のドアを開けると、そこには“泡の森”が広がっていて、お父さんは“泡の車”に乗っています。「おもしろそう」と子どもたちは想像の翼を広げ始めるでしょう。「さあ、みんなもいっしょにあわあわジャングルツアーに出かけよう！」と誘い、プロプロプロン！の発進音に力を込めて読みましょう。“泡の森”では、動物たちもみんな泡でできています。泡が飛ばされて車がなくなっても、子どもたちは「泡だもんね」と

納得しながら楽しむことでしょう。絵もたっぷり楽しめるように、ゆっくりていねいに見せてあげましょう。

読み終わったら、自分たちのお風呂エピソードを語り合ってみてもよいですね。



おはなしチャイルド

うさぎの ふうせん

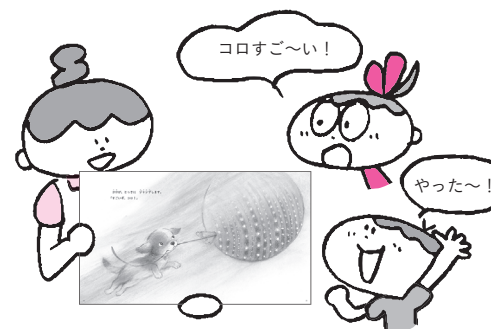
作／つしませつこ
絵／狩野富貴子

空の向こうの広大な宇宙への期待や想像が膨らむお話です。かわいいうさぎの姿に動物好きの子どもたちが喜ぶことと思います。表紙の絵をゆっくり見せてあげましょう。

散歩の途中、持っていた風船が木に引っかかってしまい泣いているうさぎと出会ったぼくは、木に登って取ってあげようとするのですが…。一生懸命がんばってもなかなか取れないもどかしい展開です。緊張感とがんばって！の気持ちを込めて読んであげましょう。その様子を木の下で見ているうさぎと犬のコロの姿にも子どもたちの目線がいくようにしましょう。空へ飛んでいった風船をコロが捉える瞬間が鮮やかです。ページをすばやくめくって見せましょう。裏表紙の絵もゆっくり見

せて、余韻を残して終わりましょう。

読み終わったら、月や宇宙について、そしてよくとコロの勇氣についてみんなて話し合ってみましょう。





おはなしチャイルド リクエストシリーズ

てんぐの そばまんじゅう 作／深山さくら 絵／長谷川義史

山に住むじいさまとばあさまがわらび摘みをしていると、ばきっ、どさっ、いてっ、と音がして…。冒頭から思わず身を乗り出して見たくなるお話です。ユーモアと哀愁が入り混じった絵にも引き込まれます。インパクトのある表紙もじっくり見せて、お話への期待感を高めましょう。

ばあさまが山の中に落ちていたやつでの葉っぱを拾って持ち帰った日から山の天気に変化がおきます。そしてある日、家に天狗がやってきます。前半は暗くてドキドキの展開です。声は低めに、メリハリをつけてゆっくり読みましょう。中盤の傷ついた天狗との人間味のあるやりとりが心に響きます。明るく、気持ちを込めて読みましょう。終盤は天狗の飛び立ちから、終わりに向かう穏や

かさが絵に込められていてすてきです。ゆっくり見せて余韻を残して終わしましょう。

読み終わったら、登場人物の気持ちや天狗について話し合ってみてもよいですね。



チャイルドブックアップル 傑作選

コロンかいぞくだん 作／かるくこうぼう

海に沈んでしまった海賊船のコロン船長と子分たち。どんな困難が待ち受けているのでしょうか。冒険物語をおもしろがるようになってきた子どもたちに読んであげましょう。木や毛糸などの素材で作られた登場人物たちが立体的で目を引きまします。表紙の海賊船もかっこいいです。絵を見せて想像を膨らませてから読み始めましょう。

なにもない島に流れ着いてがっかりする子分たち。でも、コロン船長だけは常に前向きです。どんな状況でも諦めない船長のすてきさが伝わるよう、明るくメリハリをつけて読みましょう。絵に込められた紆余曲折ぶりに子どもたちは引き込まれることでしょう。そして、もうお手上げかというところに大きな貝が流れ着き…。うれしいエン

ディングに子どもたちもほっとすることでしょう。

読み終わったら、海賊ごっこをして遊んでみましょう。



はじめてましのえほん

むぎゅ むぎゅ よいしょ 作・絵／板橋敦子

なんでも「自分で！自分で！」と自己主張の始まった子どもたち。動物たちがお着替えに挑戦している姿に共感して見てくれることでしょう。

まず、表紙の顔の見えない3匹の動物たちの絵を見ながら「誰かな?」と問いかけてみましょう。

「ぞうさん!」などと張り切って答えてくれる子もいるかもしれません。すぐにはわからない動物もいて、余計に興味を引かれることでしょう。最初のページの大・中・小サイズのシャツの絵も「誰のかな?」と1つずつ指さしながら問いかけてみましょう。うさぎさんとぞうさんは上手にシャツを着ることができまします。最後のぶたさんはなかなか着れませんが、仲間の応援をもらって「できたー!」とうれしいエンディングです。「むぎゅ

むぎゅ よいしょ」の言葉に身振りも交えて臨場感を出すとういすね。

読み終わったら、みんなで着替えに挑戦してみましょう。



みんなで よもう! 日本の昔話

さるとかに

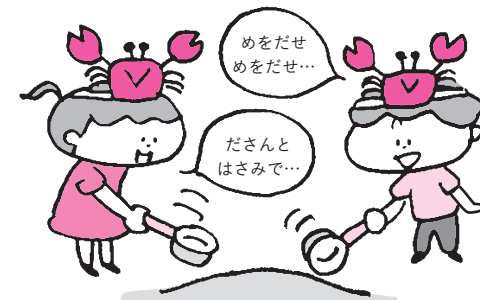
文／小沢正
絵／渡辺一郎

子がにたちのあだ討ちがテーマで、本当は怖いお話ですが、登場人物たちが個性的でおもしろいので子どもたちに人気のある昔話です。登場人物のやり取りにメリハリをつけ、それぞれになりきって読みましょう。暗さがなくてユニークな絵もお話に入りやすいです。ゆっくり見せてあげましょう。

悪賢いさるにだまされておにぎりや柿の種を交換した母がにには、種を植えて育てます。成長していく柿とそれを育てる母がにとのやり取りが楽しいです。水やりのフレーズに弾みをつけて読みましょう。ようやく育った柿を独り占めしようとするさるが柿の実を投げつけ、母がにには潰されてしまいます。するとそのおなかから子がにがぞろぞ

ろと…。悲しみと驚きを込めて読みましょう。子がにたちと仲間が敵討ちをする場面は、それぞれの個性を強調して、勢いをつけて読みましょう。

読み終わったら、さるとかににごっこをして遊んでみましょう。



かんがえる

チャイルドブック・がくしゅう版

週案例

- ・保育絵本を活用し、宇宙に目を向けるきっかけを作る。
- ・保育絵本を活用し、視覚障がい者のための工夫を知る。

日案例

コーナー 5領域・10の姿との関連	ねらい・子どもの活動内容・保育者の援助等
特集 ♣■♠ ④⑤⑥⑦⑨⑩	●クイズに答えながら、宇宙ステーションで暮らす工夫や、宇宙の不思議について関心を高める。 ●地上と宇宙の違いを友達と調べることで、地球を大切にする気持ちも膨らませ、自分たちの身の回りのできる自然を大切にする方法について考え話し合う。
数・シール ♣■♠ ⑥⑧⑨⑩	●指定の形のシールを貼る遊びを通して、角の数など形の特徴に関心をもち、丸・三角・四角の概念を身につける。 ●丸・三角・四角の形を活かした製作活動につなげたり、ゲームに取り入れたり、楽しみながら認識を深める。
身の回りの なぜなぜ ▲♣■♠ ③④⑤⑦⑨	●盲導犬の仕事を知ることがきっかけに、身近にあるさまざまな視覚障がい者のための工夫に気づく。 ●人と協力して助け合うことの大切さを知る。 ●障がい者の存在に気づき、自分たちでできることを話し合い実行する。
お話 言葉遊び ♣■♠ ⑥⑨⑩	●お話を通して、同じ発音でも意味の異なる言葉（同音異義語）があることを知り、言葉の楽しさに触れる。 ●自分たちの身の回りから同音異義語を探し、それぞれの表す意味とともに理解する。
小学校へ つながる生活 ♥♣■♠ ①④⑤⑨	●防災の日（9月1日）に関連して、防災に関するクイズに答えることで、日頃から災害時の行動への意識を高める。 ●自分たちが知っている避難時の約束をポスター作成するなどして意識を高め、また保育者も子どもたちの理解の正しさを確認する。

5領域

♥ 健康
♣ 環境
▲ 人間関係
■ 言葉
♠ 表現

10の姿

① 健康な心と体 ② 自立心 ③ 協同性
⑦ 自然との関わり・生命尊重

※ここでは、月刊保育絵本を活用した指導計画の週案・日案の文例を提示しています。
あくまでも例ですので、それぞれの園の環境や園児の状況に合わせてお使いください。

チャイルドブック・ゴールド

みんなともだち

週案例

- ・保育絵本を活用して、自分の体に興味をもち健康について考える。
- ・保育絵本を活用して、避難時の約束を覚える。

日案例

コーナー 5領域・10の姿との関連	ねらい・子どもの活動内容・保育者の援助等
特集 ♥♣■ ①⑥⑦	●人間と動物の骨の形状を観察し、興味を深める。また骨の役割を知ること、大切さを実感する。 ●自分の腕などを触って骨の存在を知り、自分と動物の骨をくらべながら興味・関心をもつ。
食育 ♥♣■ ①⑥⑦	●切り身で見ることの多い魚が、もとはどんな形をしていたか知ること、食材への興味や感謝の気持ちを育む。 ●さけについて図鑑などで詳しく調べ、食材としてさらに身近に感じられるようにする。
お話 ▲♣■♠ ③⑤⑥⑨⑩	●おもちゃがなくても工夫して遊んでいた昔の知恵を知る。 ●絵を見て昔と今の違いをくらべ、気づいたことを発表しあう。 ●読後は敬老の日の話題につなげ、その意味や目的に触れて、お年寄りを尊敬する気持ちや感謝の気持ちを膨らませられるように工夫する。
シール ▲♣■♠ ③⑤⑥⑨⑩	●おじいさん、おばあさんに花束を渡す遊びを通して、敬老の気持ちを深める。 ●おじいさん、おばあさん、または近所のお年寄りに感謝を伝える製作の活動につなげる。
生活 ♥♣■ ①④⑤⑨	●地震が起きたとき、どのような行動をとるべきなのか、子どもたちに問いかけて意見を出し合う。 ●避難訓練のまえに「おはしも」の約束をあらためて確認して、各自が守る大切さを感じる。 ●このコーナーを活用し、災害時の約束を言葉とともに絵で見て覚え、日頃から繰り返し確認しておく。

④ 道徳性・規範意識の芽生え ⑤ 社会生活との関わり ⑥ 思考力の芽生え
⑧ 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ⑨ 言葉による伝え合い ⑩ 豊かな感性と表現

※ここでは、月刊保育絵本を活用した指導計画の週案・日案の文例を提示しています。
あくまでも例ですので、それぞれの園の環境や園児の状況に合わせてお使いください。

文例執筆 / 山本秀子（帝京平成大学教授）

チャイルドブック ジュニア

日案例

週案例

- ・保育絵本を活用し、動物への興味関心を広げる。
- ・保育絵本を活用し、魚の形を知り食への興味を育む。

コーナー 5領域・10の姿との関連	ねらい・子どもの活動内容・保育者の援助等
動物 ♥♣■ ①⑥⑦	● 動物によって鼻の形が違うことやその役割を知り、動物への好奇心を育む。 ● 園内にあるもの（例：輪ゴム・紙・のり・植物の葉や花）のさまざまな匂いを実際に確かめながら、鼻の役割を実感する。
食育 ♥♣■ ①⑥⑦	● 魚にはいろいろな種類がいて、味や見た目が違うことを知る。 ● 家庭での食事や給食に出た魚の名前を調べたり、味わったりしながら、魚への興味・関心を深めて、積極的に食べたいような環境を作る。
お話 ♣■♠ ⑥⑦⑨⑩	● カードを動かしながら、自分なりにストーリーを広げて楽しむ。 ● ぽっこりやままでの道のりにある秋を感じられるように、保育者が話題に取り込みながら読み進める。
シール ♣■♠ ⑥⑦⑨⑩	● 秋の虫のシールをどこに貼るか考えながら、秋の季節感を感じる。 ● 保護者の協力を得て夜の虫の音に耳を傾ける機会を作ってもらい、その音を友達や保育者と言葉で伝え合う。
生活 ♥♣■ ①④⑨	● 地震が起きたときや避難のときの約束を再確認し、防災への関心を高める。 ● このページを子どもたちが見えるところに掲示したり、普段の保育でも避難の際の約束を話したりして、理解できているか確認を重ねる。

5領域

- ♥ 健康
- ♣ 環境
- ▲ 人間関係
- 言葉
- ♠ 表現

10の姿

- ① 健康な心と体
- ② 自立心
- ③ 協同性
- ④ 道徳性・規範意識の芽生え
- ⑤ 社会生活との関わり
- ⑥ 思考力の芽生え
- ⑦ 自然との関わり・生命尊重
- ⑧ 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- ⑨ 言葉による伝え合い
- ⑩ 豊かな感性と表現

チャイルドブック



日案例

週案例

- ・保育絵本を活用して、食事のときのマナーを知る。
- ・保育絵本を活用して、お月見の行事に関心をもつ。

コーナー 5領域・10の姿との関連	ねらい・子どもの活動内容・保育者の援助等
歌 ♥▲■ ①⑦⑨	● うたいながら楽しく食材の名前を覚えたり、体遊びを楽しんだりする。 ● 保育で実際にお弁当や給食を食べるまえにうたい、友達といっしょに食べる喜びを共感し合える言葉かけをする。
生活 ♥▲■ ①④⑥⑨	● 食事のマナーを覚え、みんなが気持ちよく食べられるようにするにはどうしたらよいか考える。 ● 食事の正しい食べ方を昼食まえに話し合い、子どもたちの気づきを引き出しながら、不足部分は保育者が援助をして実践に結びつける。話し合った食事のマナーが守れたことをほめながら、達成感や次への意欲を育む。
環境 ♣■♠ ⑥⑦⑨⑩	● 普段、なかなか見ない夜の月の写真から、空に興味をもつきっかけにする。 ● お月見にちなんだ製作をし、保育室に掲示することで季節感を味わえるような環境を作る。
シール ♣■♠ ⑥⑦⑨⑩	● 楽しそうに踊ったり、月見団子を食べたりしている動物の気持ちになってシール遊びをするとともに、お月見についても知る。 ● お月見の行事を通して、自然（収穫）への感謝の気持ちを抱けるような声かけをする。
お話 ▲■♠ ③⑤⑥⑨⑩	● リズミカルな繰り返しの言葉としかけの絵変わりを楽しみながら、昔話に親しむ。 ● かぶがようやく抜けた喜びやみんなで協力した喜びを物語から感じられるように、劇遊びなどにして保育に取り入れ、味わう。